

# 天使のアートな休日 横須賀美術館

カップルで訪れてみませんか。アートと自然環境と評判です。森林浴に海水浴、そして芸術鑑賞

ドライブ天使▶



◀屋上広場から東京湾のオーシャンビューが満喫できる 彼方に房総半島



▲ガラス張りの鏡面効果で水面に浮かんだように見える



▲展望台に設置された「恋人の聖地」碑



▲小出猶重「前向きの裸女」(1930年)油彩・画布



▲矢崎千代「ハルピン中央寺院」(1903年)



▲人気の手ぬぐい各1050円 伝統的な手染め「注染」仕様

郎の作品を展示する別館「谷内六郎館や美術図書室(入館無料)が併設されている。ちなみに彼はアトリエを横須賀・鴨居に構えていた。そして展望台に人気のプレート「恋人の聖地」が設置されている。美術館は主に大正時代以降の近代日本美術作品のコレクションを特色にしている。オープンしてまだ歴史は浅いが、安井曾太郎の『外房風景』

横須賀美術館は、芸術と自然環境を包括したスケールが大きい立体的リゾートスポットだ。そこはビジターの心を和ませてくれるアートワールドだった。

CD

「図書館の夢」図書館はアイデアと実用的知識のシンボルです。夢で目的の書籍が見つからないときは、集中力や判断力を鍛える必要があります。そのために最適のオイルはサイプレスです。「鳥の夢」鳥は自己の一部が失われた象徴。最近、リストラや離婚など悲しい目に遭ったのは……そんなときはマンダリンが最適。自信が回復します。

ドライブ前の夢占い。現在の体調や心境を夢から分析し、最適のエッセンシャルオイルを推奨します。枕元のアロマポットにオイル2〜3滴を垂らせば、翌朝は元氣ハツラツ、レッツゴー。

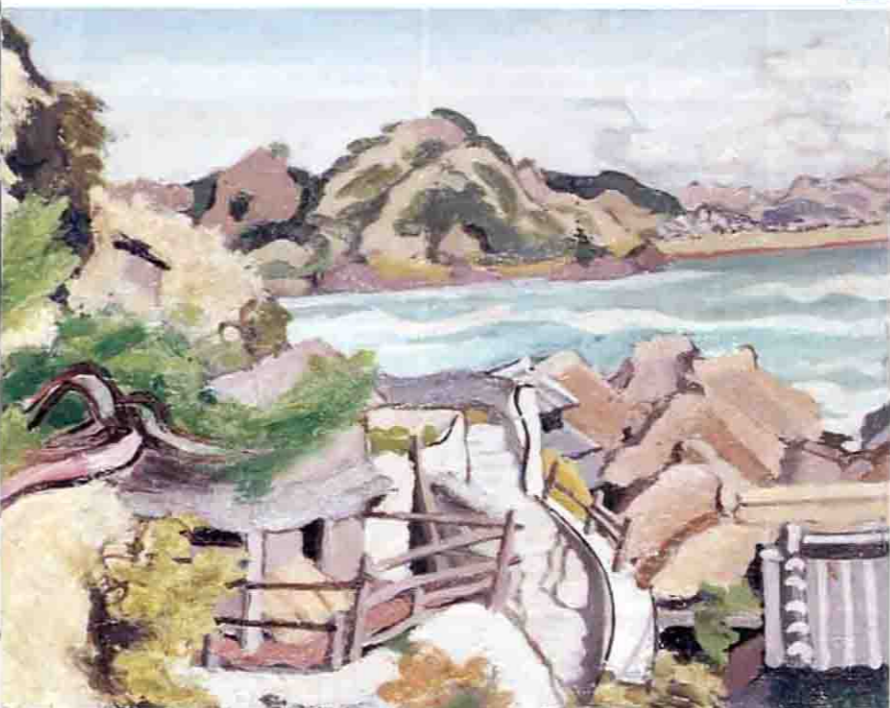
# 1DAY DRIVE 4 YOKOSUKA MUSEUM OF ART

境を一体化した横須賀美術館は、デートに最適——。観音崎ワールドは、心のオアシスです。

高橋 彩(エッセイスト+ヒーリングアーティスト)



▲市制100周年を記念して2007年に開設された横須賀美術館の本館



▲安井曾太郎「外房風景：太海」(1932年)油彩・画布 34.3×42.5cm



▲円窓を配した展示ルーム ▲館内からも円窓を通して海が



観音崎通り Kannonzaki-dori

横須賀美術館は2007年4月にオープンした、まだ新参の市立美術館だが、NPO法人の地域活性化支援センターから「恋人の聖地」に認定され、早くも話題のスポットになっている。恋人の聖地とは、ファッションデザイナーの桂由美や華道家の假屋崎省

吾らが選定委員となり、デートスポット」として最適の地と認定した場所である。美術館は三浦半島の東端、東京湾に突き出た観音崎に位置し、前面は変化に富んだ岩場と砂浜、そして雄大な海原が広がり、背後と側面は豊かな森に包まれている。さらに、周辺は県立観音崎公園になっていて、日本初の洋式灯台や明治期に築かれた砲台、弾薬庫の跡が保存されている。そういえば、J・スウィフト作『ガリバー旅行記』第3編でガリバーが日本を訪れる際、入港したとされたのが、この地だった。なんともメルヘンチックで、まさに恋人の聖地にふさわしい場所といえる。天使もいつのまにか、「月灯り青い岬にママの目をぬすんできたわ」と、松田聖子の『秘密の花園』を口ずさんでいた。青春時代に戻った気分である。

美術館の開設ポリシーも「環境全体が美術館である」とうたっている。その建物はまさに周囲の自然とマッチしたモダンな雰囲気、外壁に多用したガラスの鏡面効果により、まるで海の上に浮かんでいるような錯覚を与えている。館内にはソーダの気泡や水玉のような円窓が数多く設置され、時間帯や天気によって、作品の色合いが

ら見せ方まで変化する工夫が凝らされている。また、屋上から海原や行き交う船舶を眺めていると、まるで豪華船のキャビンにいるような気分になってきた。ちなみに、設計は建築家の山本理顕氏。日本建築学会賞の受賞者で、現在は横浜国立大学大学院の教授を務めている。

施設は、本館を中心に森の散歩道につながる屋上広場(山の広場)、海に面した芝生の広場(海の広場)で構成され、敷地内には、週刊新潮の表紙絵で有名な谷内六



●併設のイタリアンレストラン「アクアマレ」 地場の野菜や東京湾で水揚げされた魚介類を使用 人気ランチのバスタグランドセット1500円 予約☎046・845・1260

### 横須賀美術館ガイド

●2007年4月開館の市営美術館。大正以降の近代美術を収集。施設は展示館/山の広場/海の広場/谷内六郎館で構成され、観音崎の美しい自然とアートが楽しめる。

【所在地】〒239-0813 神奈川県横須賀市鶴居4-1-1 ☎046-845-1211

【開館時間】午前10時～午後6時(6～9月は平日と日曜日が午後7時まで、土曜日と4月29日～5月6日は午後8時まで開館)

【休館日】毎月第1月曜日(祝日を除く)/12月29日～1月3日

【観覧料】一般300円(企画展は別途)

【駐車場】約120台分。普通車料金150円/30分(一日上限1500円。観覧者は最初の1時間無料)

【アクセス】横浜横須賀道路馬場海岸ICから約5分